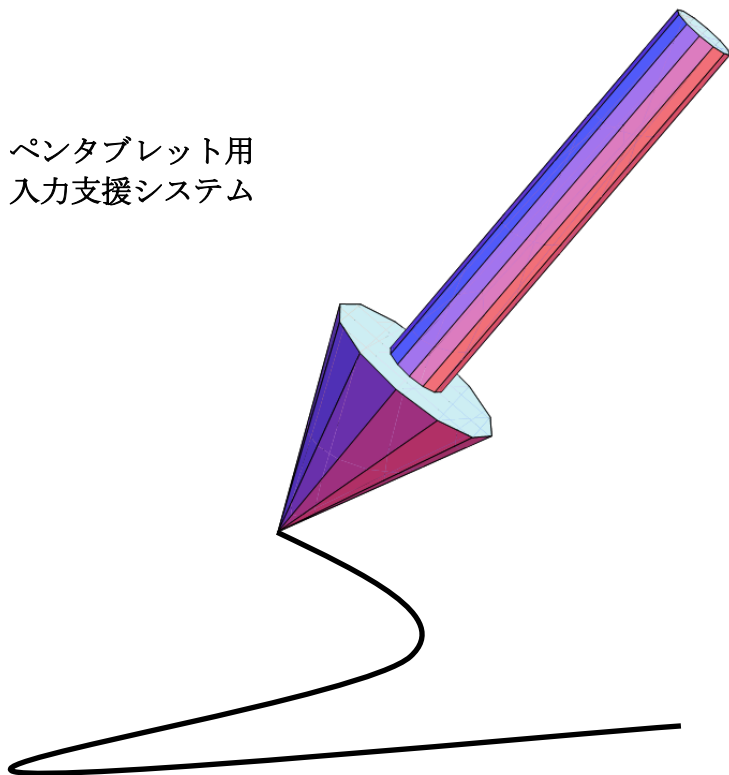


PENSAKY(ペンサキイ)システム

ペンタブレット用
入力支援システム



エディター機能付き定型文入力アシスタント

- ウィンドウズに付属するマイクロソフト 日本語手書き認識エンジンを利用
- 登録した文字だけを判別する方式で、認識率が飛躍的に向上
- 1～3文字程度のキーワードを入力すれば定型文が即座にクリップボードへ

PENSAKY(ペンサキイ)システム

<序文>

ペンタブレットは手書き文字認識機能を使うことにより手軽に文字を入力できる反面、文字の認識率の悪さが実用的な利用を阻害しています。たとえば数字の「2」、アルファベットの「Z」、漢字の「乙」の3種類の文字を手書きするとほとんど同じ形になってしまい、手書き文字認識プログラムはこれを区別するのが困難です。これを解決するために前後の文脈から類推する手法が使われていますが、それでも認識率は満足できるものではありません。日記や小説など一般的に文章を書く場合、定型文が少なく文字種が特定できませんからペンタブレットは適さないと言えます。反面、医師のカルテ記載などは定型文が多く、工夫をすればペンタブレットをうまく使うことができます。

従来の定型文の入力にはいくつかの方法があります。

①ホットキー入力（ALTキーやシフトキーを同時押しする入力法）

ファンクションキーやショートカットキーと同様の機能です。同時に押すキー（通常2～3個のキー）を登録すれば定型文を出力できますが、ホットキーと定型文の組み合わせを記憶することが負担になります。ペンタブレットの機能は使用する必要がありません。

②クリップボード履歴ソフト

クリップボード（コピー&ペースト）の履歴を保存しておき、再利用する入力法です。マウスで定型文リストを選択するか、前述のホットキー入力を利用するためペンタブレットの機能は利用していません。

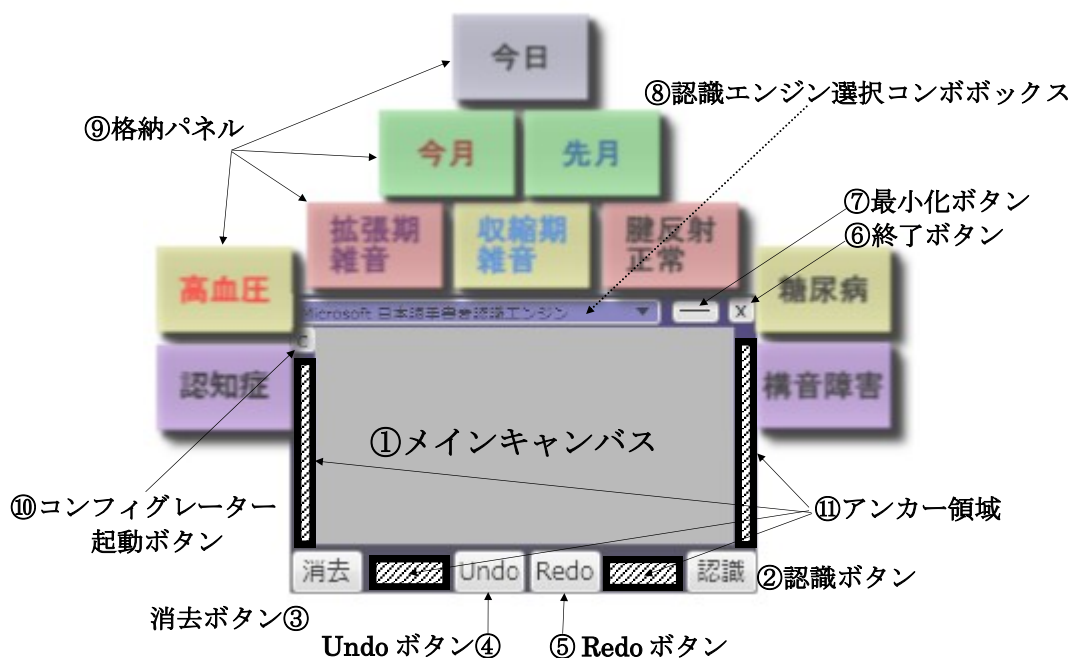
③マウスジェスチャー入力（マウスの軌跡を利用する入力法）

ペンフリック：上下左右斜めの8方向に、「上へスクロール」「下へスクロール」「戻る」「進む」「カット」「ペースト」「コピー」「削除」「元に戻す」などのショートカットが登録できます。最近のペンタブレットには標準装備されています。ただし登録数が少なすぎて定型文入力には適しません。

ペンフリック以外にいわゆるマウスジェスチャー入力ソフトがありますが、アルファベットや特殊なマウスの軌跡を登録しても50種類程度が限界です。一筆書きが基本なので複雑な図形の登録は困難です。

pensaky(ペンサキイ)はウィンドウズに付属する Microsoft 日本語手書き認識エンジンを利用したペンタブレット用入力支援システムです。手書き認識エンジンが判別すべき文字は日本語の場合 JIS 漢字コードでは「第1水準」2,965字、「第2水準」3,384字もあります。これでは判別すべき文字が多すぎて認識率に限界があります。pensaky(ペンサキイ)は登録した文字だけを判別する方式にしていますので認識率が飛躍的に向上しています。数字、アルファベット、ひらがな、カタカナはプリセット登録できます。それ以外の文字はテキストファイルで(キーワード⇒定型文)のペアを定義します。このテキストファイルのキーワード側に含まれる文字だけが認識エンジンに追加登録されます。日本語や中国語では漢字を使用できるため、覚えやすい1～3文字程度のキーワードを登録すれば定型文が即座にクリップボードへコピーできるようになります。漢字を日常利用している私たちは大変有利な言語環境にあるわけです。

ペンサキイの名称



ペンサキイの名称と機能

①メインキャンバス

ペンで文字を入力するためのウィンドウです。

②認識ボタン

メインキャンバスに入力された文字を pensaky(ペンサキイ)システムに認識させるときに押すボタンです。認識結果はクリップボードに転送されます。

③消去ボタン

メインキャンバスに書いた文字を消去します。Redo ボタンでもどすことも可能です。

④ Undo ボタン

メインキャンバスに描いた線を最後に引いた線から順に一画ずつに消してゆきます。

⑤ Redo ボタン

Undo ボタンで消えた線を一画ずつもとに戻します。

⑥終了ボタン

pensaky(ペンサキイ)システムを終了します。

⑦最小化ボタン

pensaky(ペンサキイ)システムのウィンドウを消しますが、タスクバーに残しておきます。

⑧認識エンジン選択コンボボックス

日本語手書き認識エンジン以外の認識エンジンを選択するためのコンボボックスです。

⑨格納パネル

クリップボードにある文字を一時的に格納します。右クリック(ペン長押し)でクリップボードから格納パネルにコピーされ、左クリック(ペンをタッチ)で逆に格納パネルからクリップボードに文字がコピーされます。

⑩コンフィグレーター起動ボタン

ペンサキイコンフィグレーターを起動するボタンです。

⑪アンカー領域

ここを左クリックすれば pensaky(ペンサキイ)システムのウィンドウをドラッグして移動させることができます。

インストール方法

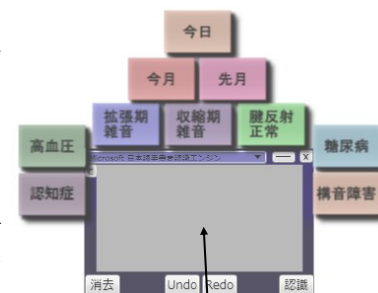
- ①ダウンロードした pensaky.zip ファイルを展開してください。
- ② pensaky.pdf、README.txt、setup.exe が展開されます。
- ③ pensaky.pdf は PDF ファイルのマニュアルです。README.txt は PDF ファイルが使用できない場合のインストール簡易マニュアルです。
- ④ setup.exe をダブルクリックするとインストールが始まります。
- ⑦インストールが終了するとスタートメニューに「pensaky」、
「PensakyConfigurator」が追加されます。また、ショート
カットがデスクトップに設定されます。不必要であれば削除して
ください。
- ⑧アンインストールはコントロールパネルの「プログラムと機能」
から行ってください。

【起動環境】

Windows Vista, Windows 7, Windows 8

クイックスタート

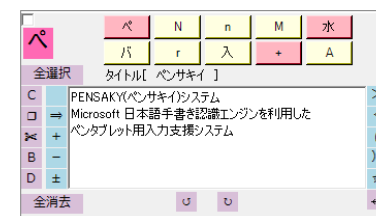
- ① pensaky(ペンサキイ)システムをインストールしたら、作成されたショート
カットから起動できます。「スタート」
⇒「Ochap」⇒「pensaky」の順からも
起動できます。
- ② pensaky(ペンサキイ)システムが正常
に起動すると右上の図のようなペンサ
キイが現れるはずです。
- ③「メインキャンバス」にペン入力で
「ぺ」と書いてみてください。
- ④書き終わったら「認識ボタン」をク
リックしてください。
- ⑤「PENSACY(ペンサキイ)システム
Microsoft 日本語手書き認識エンジン
を利用したペンタブレット用入力支援シ
ステム」と定型文が入った認識エディ
ターが現れるはずです。うまく認識され
ないときは、「消去ボタン」をクリック
してから④、⑤をもう一度試してくだ
さい。
- ⑥うまく動いていれば手書き入力した
「ぺ」という情報をもとに「PENSACY
(ペンサキイ) ……システム」という情報
が「キーワード⇒定型文」変換できたこ
とになります。
- ⑦認識された定型文はクリップボード
に入っていますから Paste 操作で他
のソフトウェアに貼り付けることがで
きます。



メインキャンバス



認識ボタン



認識エディター

「pensaky.txt」の編集

「pensaky.txt」は pensaky(ペンサキイ)システムの(キーワード⇒タイトル⇒定型文)を定義している「キーワード登録ファイル」です。ファイル名は変更可能ですが、ここでは初期状態の「pensaky.txt」として説明します。(通常のインストールでは c:\¥pensaky¥にあります。)

①コメント行は「//」で始まります。その行は pensaky(ペンサキイ)システムから無視されます。

②「/*」で始まる行があるとその行を含め、最終行まで pensaky(ペンサキイ)システムから無視されます。

③キーワード登録法：キーワードと定型文のタイトルの間に「<*>」を挿入してください。

「<*>」を含む行の次の行から定型文を始めます。

+++++

[キーワード A]<*>[タイトル A]

[定型文 A 第1行] ←この行から定型文を開始

[定型文 A 第2行]

:

[定型文 A 最終行]

←最後の改行は定型文に含まれない

[キーワード B]<*>[タイトル B]

[定型文 B 第1行]

[定型文 B 第2行]

:

[定型文 B 最終行]

←最後の改行は定型文に含まれない

+++++

具体的に例文をあげます。

例

[キーワード A] 猫

[タイトル A] 吾輩は猫

[定型文 A]

吾輩は猫である。

名前はまだない。

ねずみは苦手である。

[キーワード B] 犬

[タイトル B] 吾輩は犬

[定型文 B]

吾輩は犬である。

名前はポチである。

猫は苦手である。

上記の例のように定型文を定義するには「pensaky.txt」を編集して次の文章を追加してください。インストール時に定義しているデータは消去してかまいません。

:
:
猫<*>吾輩は猫
吾輩は猫である。
名前はまだない。
ねずみは苦手である。

犬<*>吾輩は犬
吾輩は犬である。
名前はポチである。
猫は苦手である。

:
:

キーワードは必須項目です。タイトルはなくてもかまいませんが、内容がすぐにわかるようなタイトルをできるだけ付けてください。定型文の最終行は必ず改行で終わってください。

2つ以上のキーワードを同一タイトル、同一定型文に登録する場合は「,」でキーワードを区切ってください。

:
:
猫, ねこ, cat<*>吾輩は猫
吾輩は猫である。
名前はまだない。
ねずみは苦手である。

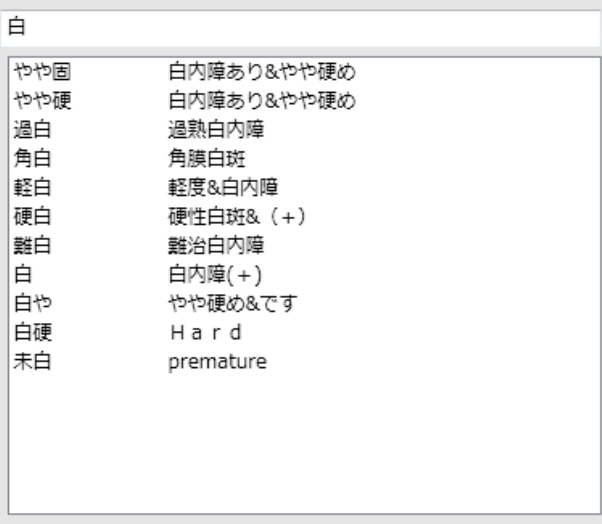
:
:

のようにすれば、「猫」、「ねこ」、「cat」のいずれのキーワードからでも、定型文がクリップボードに入力されます。

格納パネルにタイトルが表示されるとき、改行がないと全角5文字程度しか表示されません。タイトルは「&」を改行記号としています。また、タイトルが2回改行されると(つまり3行タイトル)表示される文字が自動的に小さくなります。格納パネルを見やすくするために、できるだけタイトルは簡潔にした方がいいでしょう。

インクリメンタルサーチ画面について

メインキャンバスを右クリック（タッチペン長押し）すると、インクリメンタルサーチ画面が現れます。インクリメンタルサーチとは検索したい単語をすべて入力した上で検索するのではなく、1文字入力するたびに候補を表示させる検索法です。一番上のテキストボックスに文字を入力すれば、キー



ワードまたはタイトルと一致する候補がリストボックスに表示されます。ダブルクリックで選ばれた（キーワード：タイトル）に対応する定型文がクリップボードにコピーされ、ペンサキイ画面に戻ります。ただし、定型文に含まれる文字は検索されませんので注意してください。インクリメンタルサーチを効率よく利用するするために

はタイトルから定型文が容易に連想できるようにしておくことが重要です。図は「白」という文字をテキストボックスに入力したときの画面です。タイトルにある改行記号「&」はそのまま表示されています。何も選択せずにペンサキイ画面に戻るにはESCキーを押すか、画面の余白またはスクロールバーを右クリック（タッチペン長押し）してください。

##SP_NOW	現在の時刻	##SP_2_MONTHS_AGO	2ヶ月前
##SP_TODAY	本日	##SP_3_MONTHS_AGO	3ヶ月前
##SP_THIS_MONTH	今月	##SP_4_MONTHS_AGO	4ヶ月前
##SP_THIS_TEAR	今年	##SP_5_MONTHS_AGO	5ヶ月前
##SP_YESTERDAY	昨日	##SP_6_MONTHS_AGO	6ヶ月前
##SP_LAST_MONTH	先月	##SP_7_MONTHS_AGO	7ヶ月前
##SP_LAST_YEAR	去年	##SP_8_MONTHS_AGO	8ヶ月前
##SP_TOMORROW	明日	##SP_9_MONTHS_AGO	9ヶ月前
##SP_NEXT_MONTH	来月	##SP_10_MONTHS_AGO	10ヶ月前
##SP_NEXT_YEAR	来年	##SP_11_MONTHS_AGO	11ヶ月前
		##SP_12_MONTHS_AGO	12ヶ月前
##SP_2_DAYS_AGO	2日前		
##SP_3_DAYS_AGO	3日前	##SP_2_MONTHS_LATER	2ヶ月後
##SP_4_DAYS_AGO	4日前	##SP_3_MONTHS_LATER	3ヶ月後
##SP_5_DAYS_AGO	5日前	##SP_4_MONTHS_LATER	4ヶ月後
##SP_6_DAYS_AGO	6日前	##SP_5_MONTHS_LATER	5ヶ月後
##SP_7_DAYS_AGO	7日前	##SP_6_MONTHS_LATER	6ヶ月後
		##SP_7_MONTHS_LATER	7ヶ月後
##SP_2_DAYS_LATER	2日後	##SP_8_MONTHS_LATER	8ヶ月後
##SP_3_DAYS_LATER	3日後	##SP_9_MONTHS_LATER	9ヶ月後
##SP_4_DAYS_LATER	4日後	##SP_10_MONTHS_LATER	10ヶ月後
##SP_5_DAYS_LATER	5日後	##SP_11_MONTHS_LATER	11ヶ月後
##SP_6_DAYS_LATER	6日後	##SP_12_MONTHS_LATER	12ヶ月後
##SP_7_DAYS_LATER	7日後		
		##SP_2_YEARS_AGO	2年前
		##SP_3_YEARS_AGO	3年前
		##SP_4_YEARS_AGO	4年前
		##SP_5_YEARS_AGO	5年前
		##SP_6_YEARS_AGO	6年前
		##SP_7_YEARS_AGO	7年前
		##SP_8_YEARS_AGO	8年前
		##SP_9_YEARS_AGO	9年前
		##SP_10_YEARS_AGO	10年前

特殊変換表の使い方

前ページの表は日付時刻関連のキーワードです。

今日の日時が2015年8月26日 13時34分51秒だとすれば以下のように変換されます。

キーワード「now」と「今」が 13 : 34 : 51 と変換されます。
「pensaky.txt」での定義は下記のようになっています。実際のファイルを見てください。

```
now, 今<*>今  
##SP_NOW
```

さらに、

「今日、本日、today」⇒ ##SP_TODAY ⇒ 2015年8月26日

「今月」⇒ ##SP_THIS_MONTH ⇒ 2015年8月

「今年、本年」⇒ ##SP_THIS_YEAR ⇒ 2015年

「昨日」⇒ ##SP_YESTERDAY ⇒ 2015年8月25日

「先月」⇒ ##SP_LAST_MONTH ⇒ 2015年7月

「去年」⇒ ##SP_LAST_YEAR ⇒ 2014年

「明日」⇒ ##SP_TOMORROW ⇒ 2015年8月27日

「来月」⇒ ##SP_NEXT_MONTH ⇒ 2015年9月

「来年」⇒ ##SP_NEXT_YEAR ⇒ 2016年

次のキーワードも特殊変換を利用して登録されています。

「2日」⇒ 2015年8月24日

「2月」⇒ 2015年6月

「3日」⇒ 2015年8月23日

「3月」⇒ 2015年5月

「日2」⇒ 2015年8月28日

「月2」⇒ 2015年10月

「日3」⇒ 2015年8月29日

「月3」⇒ 2015年11月

など…

以上の特殊変換も「pensaky.txt」にキーワードとして登録が必要です。

特殊変換が必要ない場合キーワードを消去すれば特殊変換されなくなります。

格納パネルの使用法

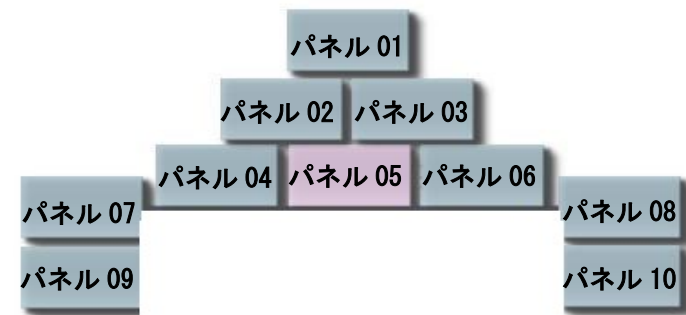
格納パネルはメインキャンバスから得た定型文を一時的に格納するために用います。全部で10枚あり、それぞれ独立して使用できます。クリップボードの情報を格納パネルにコピーするには格納パネルの上で右クリック（ペン長押し）をしてください。文字情報が入れば格納パネルにタイトルが表示されます。またペンやマウスポインターを近づければ「吹き出し」に定型文の内容が表示されます。格納パネルにある情報を逆にクリップボードへコピーするには、左クリック（ペンをタッチ）してください。格納パネルをダブルクリックすれば内容が削除されます。

格納パネルはプリセットすることもできます。

「pensaky.txt」を次のように編集すれば格納パネルの「パネル01」が起動時よりキーワード「猫」と同じタイトル、同じ定型文としてプリセットされます。（10枚の格納パネルの各名称は下図に示します。）

```
：  
：  
猫, パネル01<*>吾輩は猫  
吾輩は猫である。  
名前はまだない。  
ねずみは苦手である。  
：  
：
```

格納パネルの名称

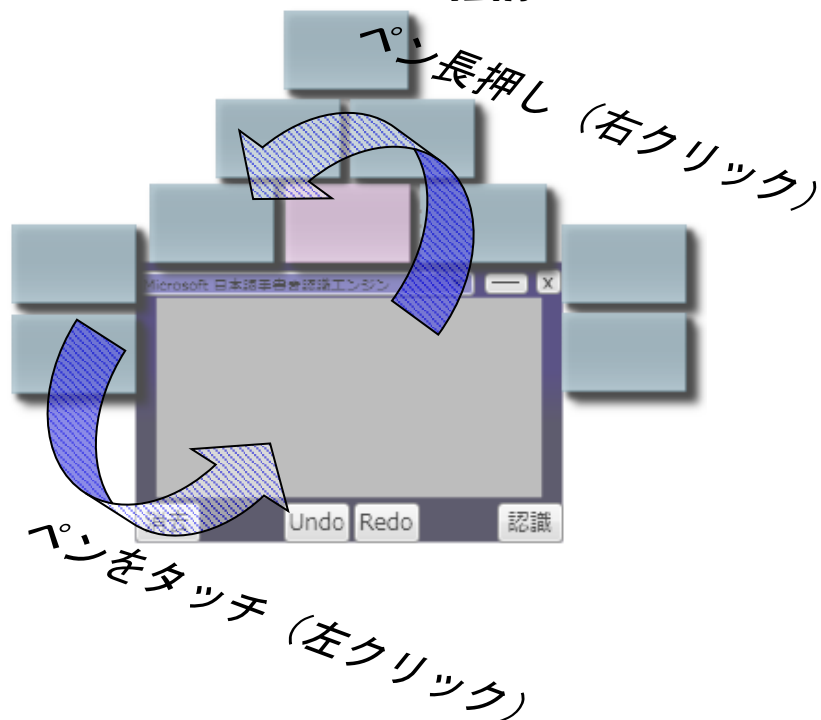


格納パネル操作図

メインキャンバス

↓ 認識ボタン

クリップボード ⇒ 格納パネル



格納パネル ⇒ クリップボード

ダブルクリックで消去

ペンの設定は[コントロールパネル]⇒[ペンタブレットのプロパティ]から好みに応じて再定義できます。

認識エンジン選択コンボボックス

pensaky(ペンサキイ)システムの開始時は

「Microsoft 日本語手書き認識エンジン」

に設定されています。「認識エンジン選択コンボボックス」をクリックして、他の認識エンジンを選択することができます。

Windows7、Windows8 では通常、

「Microsoft English (US) Handwriting Recognizer」

「Microsoft English (UK) Handwriting Recognizer」

「Microsoft English (Australia) Handwriting Recognizer」

「Microsoft English (Canada) Handwriting Recognizer」

が選択できます。pensaky(ペンサキイ)システムは日本語、英語以外の言語はサポートしていません。英語を選択すると、自動的に日本語の文字を含んだキーワードは認識されなくなります。(タイトル、定型文は日本語を含めることができます。)英語の認識エンジンを選択する利点としては、キーワードが文字単位だけではなく、単語単位でも登録されるため、認識率がさらに向上していることです。pensaky(ペンサキイ)システムは同時に複数のペンサキイを立ち上げることができるため、日本語の認識エンジンと英語の認識エンジンを同時に使い分けることができます。



ペンサキシステムのファイル構成

ペンサキシステムは6つのファイルから構成されています。

- ①「pensaky.exe」 ペンサキ実行ファイル
 - ②「pensaky.ini」 初期化ファイル（変更不可）
 - ③「pensaky.txt」 キーワード登録ファイル（変更可）
 - ④「Preference.XML」 環境設定ファイル（変更可）
 - ⑤「popup.js」 ポップアップ表示用 java スクリプト（変更可）
 - ⑥「PensakyConfigurator.exe」 ユーティリティプログラム
- <ファイルの説明>
- ①はペンサキシステムの実行ファイルです。
- ②は「③、④」のファイル名、フォルダー名を指定するための初期化ファイルです。
- ③はこれまで説明してきたキーワード登録ファイルです。
- ④はペンサキシステムの実行時の環境設定定義ファイルです。
- ⑤は認識ボタンを押したときに立ち上がる java スクリプトファイルです。「認識文字ポップアップ」と「定型文候補ポップアップ」がありますが、初期設定は認識エディターが立ち上がるので設定を気にする必要はありません。④の環境設定ファイルから変更できます。
- ⑥はペンサキシステムのユーティリティプログラムです。19ページから詳しく説明します。

「pensaky.exe」「PensakyConfigurator.exe」「pensaky.ini」「popup.js」の4つのファイルは同一フォルダー（以後インストールフォルダーと呼びます。）に置いてください。

「pensaky.ini」の内容は下記のような単純なテキストファイルです。

pensaky.txt

Preference.XML

.¥

1行目はキーワード登録ファイル名「pensaky.txt」です。

2行目は環境設定ファイル名「Preference.XML」です。

3行目はデータフォルダーを示し、初期設定は「.¥」であり、インストールフォルダーと同じです。初期設定のフルパスは下記の通りです。

C:\¥pensaky¥pensaky.txt

C:\¥pensaky¥Preference.XML

「pensaky.ini」の3行目（データフォルダー）で指定したフォルダーには1行目で指定したキーワード登録ファイルと2行目で指定した環境設定ファイルを必ず置いてください。

認識エディター

認識エディターは「認識ボタン」を押すときに現れます。認識結果を出力するためのダイアログウィンドウです。java スクリプトによるポップアップに比べると高機能になっています。リッチテキストボックスの編集機能を多く持ち合わせています。認識エディターには2種類あります。認識結果の確認が主な目的で編集は簡単に済ませる「1次エディター（俗称：白エディター）」と認識結果を利用して文章を引き続き編集する目的の「2次エディター（俗称：黒エディター）」です。機能はよく似ていますが、表示法や動作がいくつか違います。

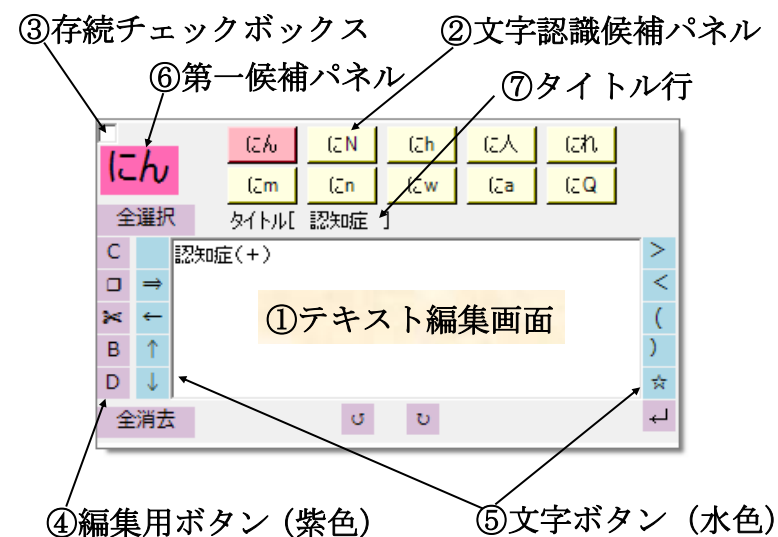
まず、「1次エディター」は「メインキャンバス」に何か線が描かれているときに「認識ボタン」を押すと出現します。「メインキャンバス」の文字認識結果は「文字認識候補パネル」に表示されます。全部で10種類の候補が左上から、可能性の高い順に出現します。キーワード登録されている文字列に一致したものはパネルの色がピンクになり、キーワードの中で一番可能性の高いものが「第一候補パネル」に表示されます。「第一候補パネル」に表示されたキーワードに対応するタイトルが「タイトル行」に表示され、定型文が「テキスト編集画面」に表示されます。同時に定型文がクリップボードにも格納されます。10種類の候補うちひとつもキーワード登録されていなければ「第一候補パネル」は空欄となります。また、「タイトル行」と「テキスト編集画面」も空欄となりますが、クリップボードには「文字認識候補パネル」のうち一番左上のパネルの文字列が格納されます。「文字認識候補パネル」をクリックすると「第一候補パネル」、「タイトル行」、「テキスト編集画面」、クリップボードが選ばれた認識文字列に応じて変化します。「1次エディター」は「存続チェックボックス」の初期状態がオフになっています。この「存続チェックボックス」がオフの状態では、他のウィンドウにフォーカスに移るタイミングで「1次エディター」は自動消去されます。（「2次エディター」は初期状態がオン）「テキスト編集画面」の内容は自由に編集できます。「編集用ボタン」は紫色です。「全選択」（select all and copy）、「全消去」（select all and cut）、「C」（コピー）、「□」（paste）、「✂」（cut）、「B」（back space）、「D」（delete）、「⌫」（undo）、「⌮」（redo）、「↵」（return）以上の10種類のボタンの定義は固定されています。「テキスト編集画面」の両側面にある水色のボタンはユーザー定義の「文字ボタン」です。

「2次エディター」は「メインキャンバス」が空白のときに「認識ボタン」を押すと出現します。

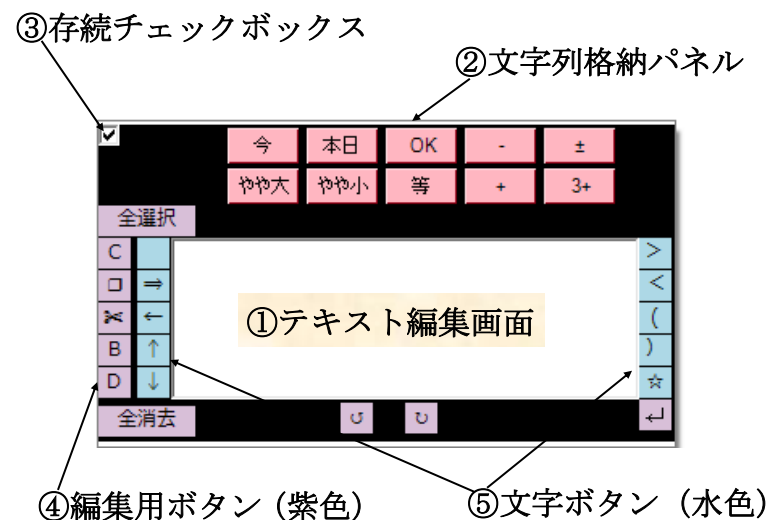
このエディターは認識された文章を編集するために使用します。「1次エディター」と大きく違うのが「文字認識候補パネル」として使用していたボタンです。「2次エディター」では「文字列格納パネル」になっています。このボタンは「メインキャンバス」に付属している「格納パネル」と同じ目的に使用します。ただし pensaky.txt に登録されている「キーワード」であっても表示はタイトル変換されません。その代り「タイトル行」にタイトル変換された文字列が表示されます。「文字列格納パネル」のボタンを押すとクリップボードに文字列がコピーされます。コピーされる内容は pensaky.txt に登録されていない場合はそのままの文字列が、登録されている場合は「キーワード」に対応する「定型文」がクリップボードにコピーされます。「編集用ボタン」と「文字ボタン」は「1次エディター」と同等です。「2次エディター」を消すためには左上の「存続チェックボックス」をオフにする必要があります。

認識エディター

1次エディター（白エディター）

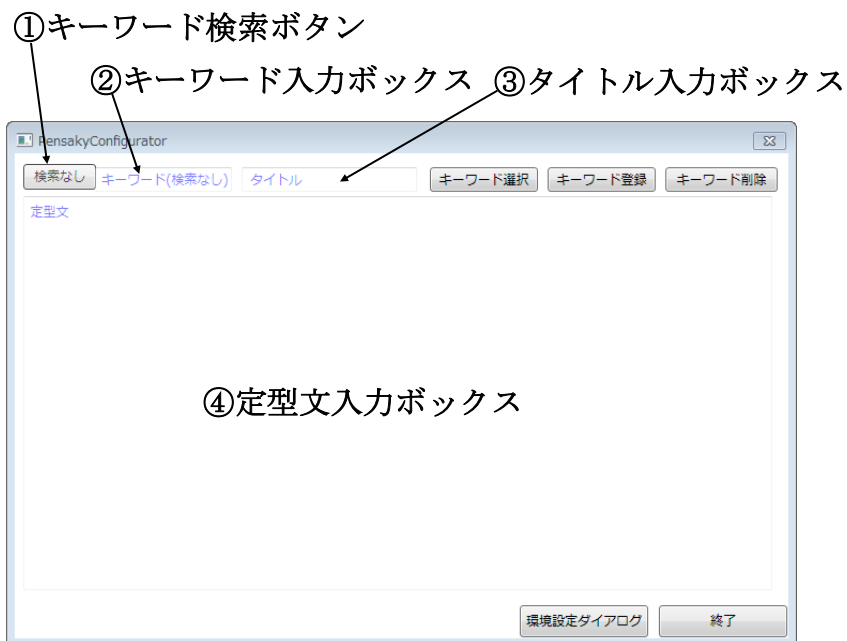


2次エディター（黒エディター）



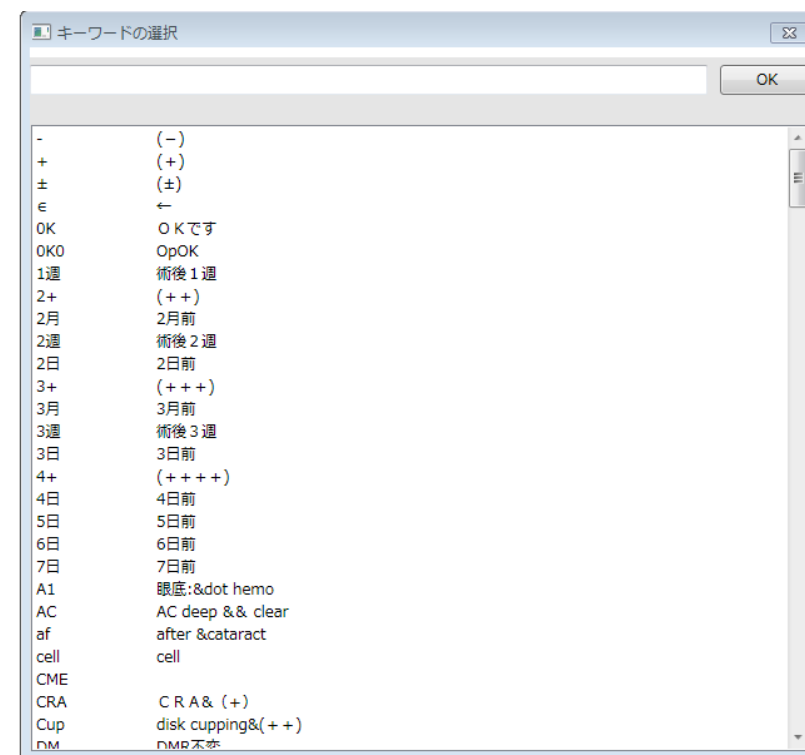
ペンサキイコンフィグレーター

ペンサキイコンフィグレーターは pensaky(ペンサキイ)システムのキーワード登録ファイル (pensaky.txt) への定型文登録、変更、削除のほか、環境設定ファイル (Preference.XML) の編集を簡単に実行できるユーティリティプログラムです。設定ファイルの名称変更、先読み文字セットの変更もできるようになっています。ペンサキイコンフィグレーターを単独で起動するときは PensakyConfigurator.exe を実行してください。また、pensaky(ペンサキイ)システム稼働中は「コンフィグレーター起動ボタン」を押すことによってペンサキイコンフィグレーターを起動できます。ただし、設定の変更は次回の pensaky(ペンサキイ)システム起動から有効になります。



「キーワード検索ボタン」が「検索あり」になっている場合、すでに登録してある「キーワード」を入力すると「タイトル」と「定型文」が表示されます。既存の「タイトル」と「定型文」を変更して新しい「キーワード」に対応させるときは「検索あり」の状態では既存のキーワードを入力し、「タイトル」と「定型文」が表示されたら、今度は「検索なし」にしてから「キーワード」、「タイトル」、「定型文」を変更してください。

「キーワード選択ボタン」を押すと「キーワード選択ダイアログ」が現れます。登録済みの「キーワード」「タイトル」のリストから既存の「定型文」を表示できます。



新しく「キーワード」「タイトル」「定型文」を入力したら、「キーワード登録ボタン」をクリックしてください。既存の「キーワード」を削除するには「キーワード削除ボタン」をクリックします。

「環境設定ダイアログボタン」を押すと「環境設定ダイアログ」が現れます。はじめは「パネル」タブが選ばれています。左上のラジオボタンは「格納文字」になっています。「格納パネル」の登録、編集、削除ができます。



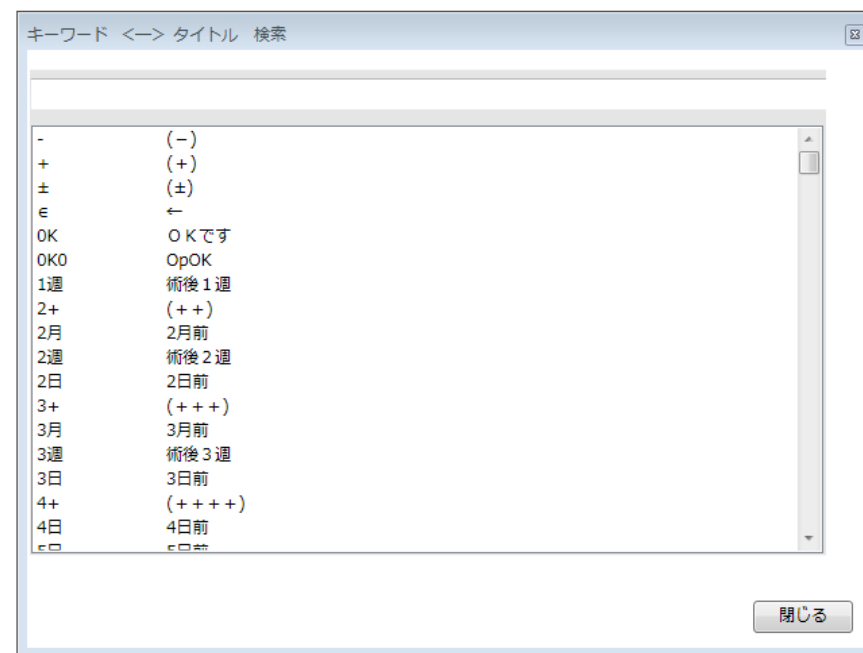
左下の「HELP」ボタンをクリックすると下記の文章が書いてあります。

- 文字検索からの登録は左クリック
- クリップボードからの登録は右クリック
- 削除はコントロールキー+左クリック

「HELP」の内容を簡単に説明します。

☆文字検索からの登録は左クリック

「格納ボタン」のどれか一つを左クリックすると「キーワード<->タイトル 検索」というウィンドウが現れます。



「キーワード選択ボタン」に似ていますが、キーワード<->タイトルをダブルクリックで選択してください。

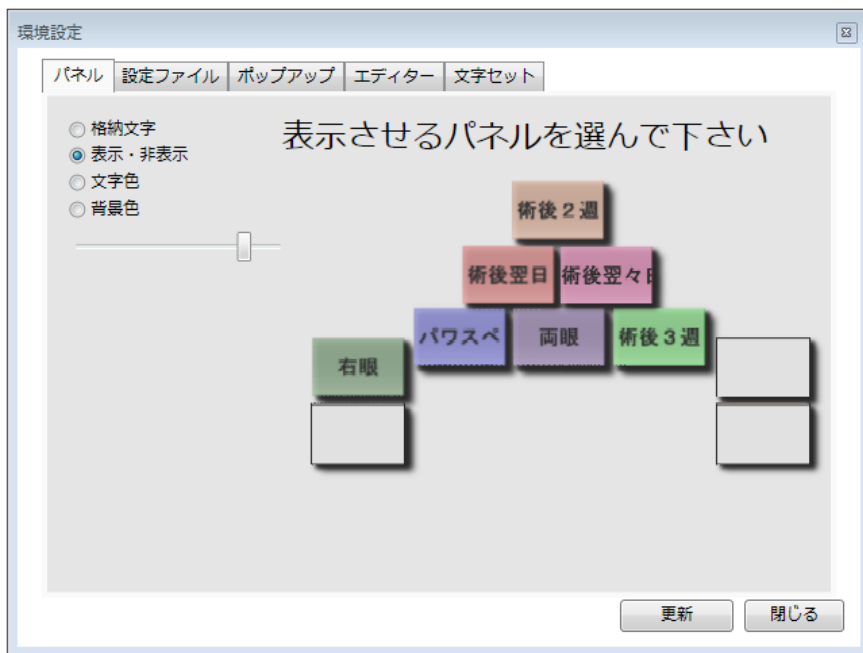
☆クリップボードからの登録は右クリック

クリップボードに文字列がセットされているときに「格納ボタン」を右クリックするとクリップボードの内容が「格納ボタン」にコピーされます。

☆削除はコントロールキー+左クリック

「格納ボタン」の内容を削除するにはコントロールキーを押しながら左クリックしてください。

ラジオボタンで「表示・非表示」を選択すると「格納ボタン」のどれを表示してどれを非表示にするか設定できます。



「格納ボタン」をクリックするとボタンの（表示）／（非表示）を切り替えられます。

ラジオボタンで「文字色」を選択すると「格納ボタン」の文字の色を設定できます。



「格納ボタン」をクリックすると「色の設定」ダイアログが出現します。好みの色を選んでください。

ラジオボタンで「背景色」を選択すると「格納ボタン」の背景の色を設定できます。

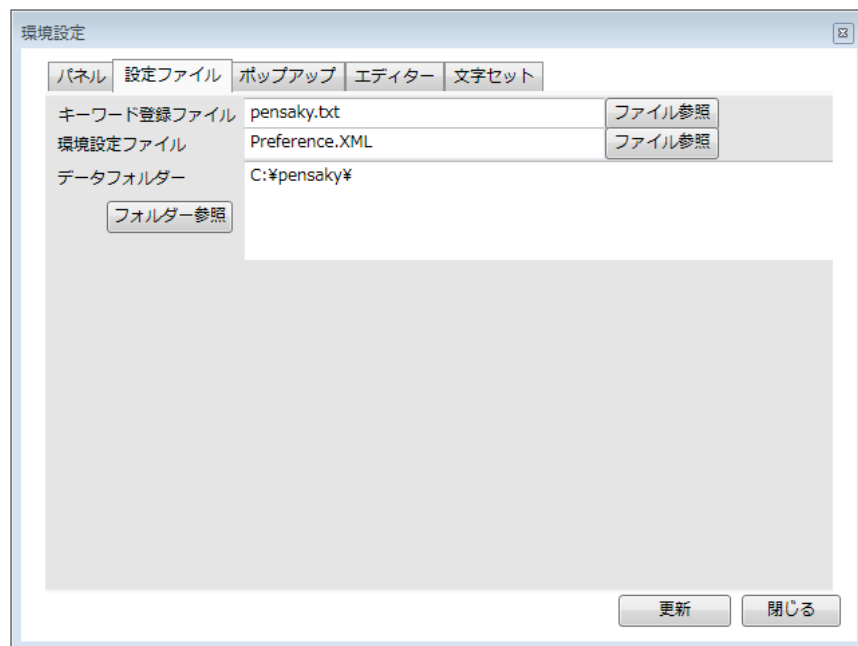


「格納ボタン」をクリックすると「色の設定」ダイアログが出現します。好みの色を選んでください。背景色は色の統一性からパステルカラー調になります。

透明度の設定はラジオボタンの下にある水平スライダーのつまみを左右に動かすことで設定します。つまみを左に動かすとリアルタイムに透明になり、右に動かすと逆にはっきりと表示します。



「設定ファイル」タブを選ぶと「キーワード登録ファイル」、「環境設定ファイル」、「データフォルダー」の設定ができます。直接入力するか、「ファイル参照」／「フォルダ参照」ボタンで選択することもできます。「データフォルダー」はドライブの名称からフルパスを入力してください。詳しくはペンサキイシステムのファイル構成（15 ページ）を参照してください。

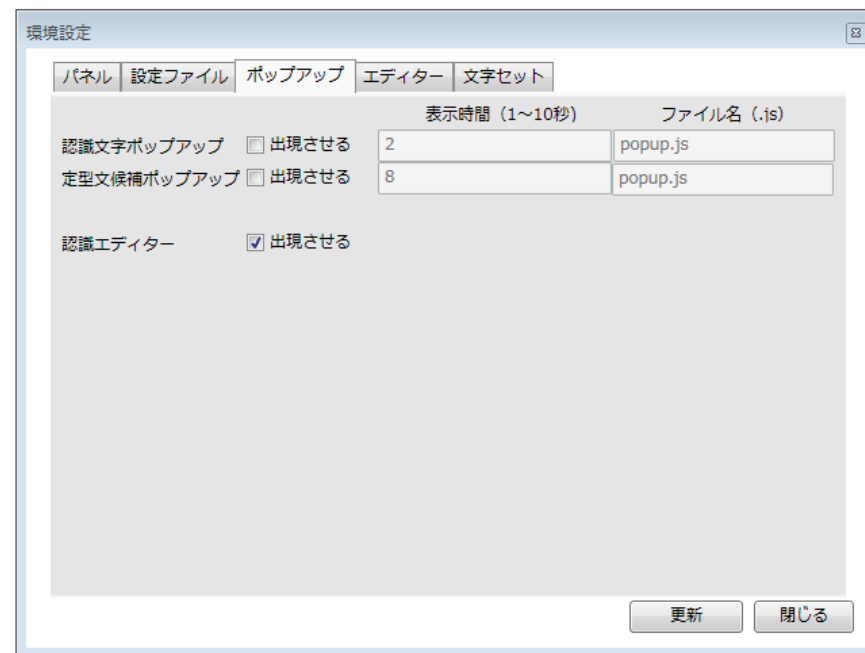


インストールフォルダー（実行ファイルのあるフォルダー）に「pensaky.ini」初期化ファイルが存在しないと自動生成されます。そのとき内容は

pensaky.txt …（キーワード登録ファイル名）
Preference.XML …（環境設定ファイル名）
.¥ …（データフォルダーがインストールフォルダーに一致）

となります。また、キーワード登録ファイルが存在しないときは「pensaky.txt」が空のファイルとして自動生成されます。環境設定ファイルが存在しないときは「Preference.XML」が自動生成されます。

「ポップアップ」タブを選ぶと「ペンサキイ」の「認識ボタン」をクリックしたときに現れるポップアップを選択できます。



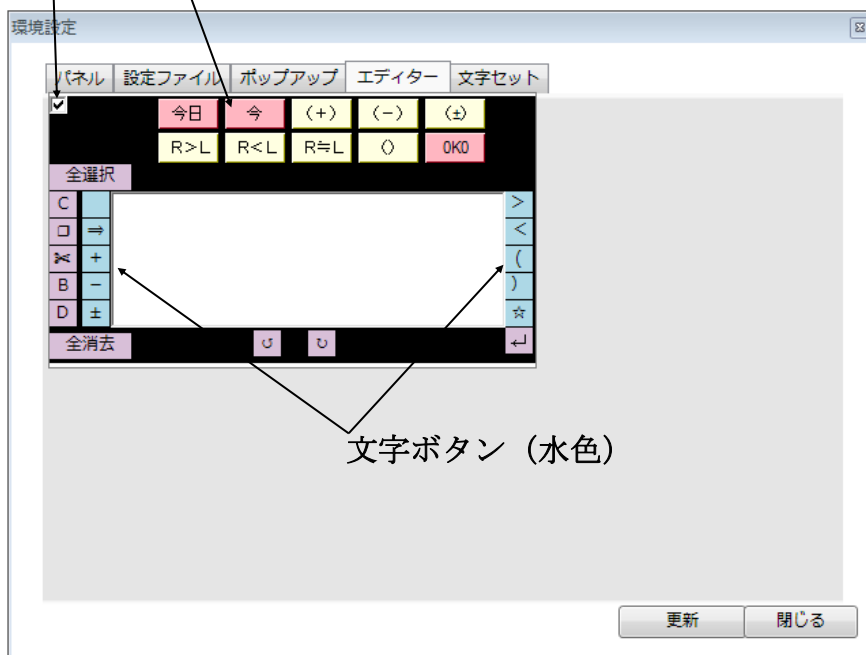
ポップアップは全部で3種類あります。「認識文字ポップアップ」、「定型文ポップアップ」、「認識エディター」の3種類です。このうち同時に選択できるのは「認識文字ポップアップ」、「定型文ポップアップ」の2種類です。どちらも同一のjava スクリプトで作られており、パラメータの渡し方が違うだけです。java スクリプトは pensaky (ペンサキイ) システム「pensaky.exe」と同じフォルダに置かれている必要があります。簡単なスクリプトですから、変更を加えればいろいろな応用ができると思います。自己責任にて変更してください。

「認識文字ポップアップ」は認識エンジンの結果候補が10種類表示されます。「定型文ポップアップ」は認識結果がヒットしたときに「キーワード」、「タイトル」、「定型文」を表示します。表示時間を変更できます。「認識エディター」は pensaky (ペンサキイ) システムの説明で詳しく紹介しましたので省略させていただきます。

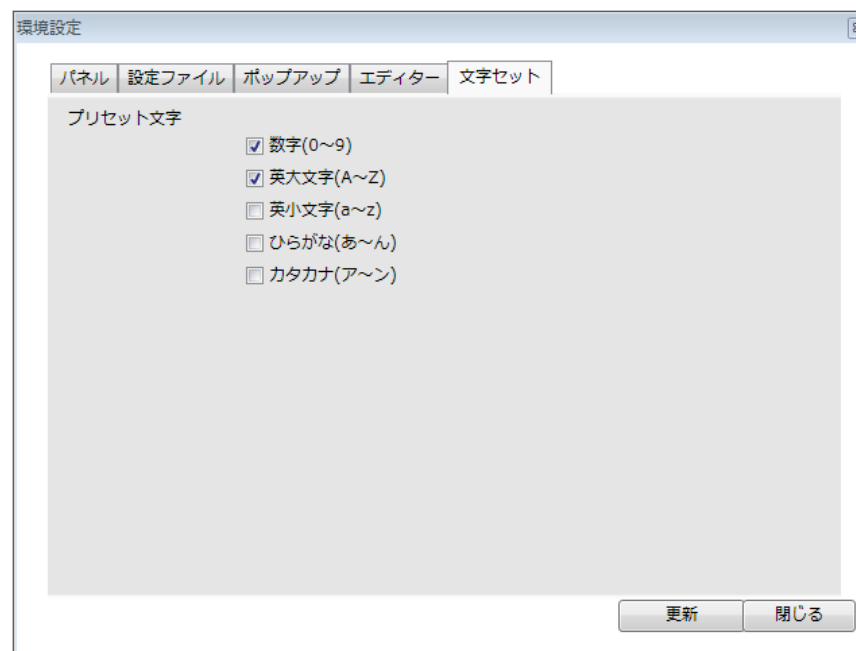
「エディター」タブを選ぶと「認識エディター」が表示されます。左上のチェックボックスは2次エディター（黒エディター）を出現させるときにチェックしてください。ただし、前項「ポップアップ」の設定が「認識エディター」＝「出現させる」にチェックしてあれば、1次エディター（白エディター）は常に表示されます。「文字列格納パネル」に登録するには、登録したいボタンをクリックすることによりキーワード選択ダイアログから登録できます。格納文字が「キーワード登録ファイル」に登録されていれば、パネルがピンク色に表示されます。「文字ボタン」（水色）は「テキスト編集画面」に1文字だけ入力してからそれぞれのボタンをクリックすることで登録できます。紫色の編集用のボタンは変更できません。

2次エディター出現チェックボックス

文字列格納パネル



「文字セット」タブを選ぶと半角数字（0～9）、半角英大文字（A～Z）、半角英小文字（a～z）、ひらがな（あ～ん）、カタカナ（ア～ン）それぞれの文字セットに対して認識エンジンにプリセットするかどうかを設定できます。細かく1文字単位で設定したいときは「キーワード登録ファイル」にキーワードとしてダミー登録すれば1文字ずつ登録制御ができます。そのときは「プリセット文字」のチェックをはずしてください。「キーワード登録ファイル」の「キーワード」に一度でも出現した文字は認識エンジンの文字認識候補となります。



<おわりに>

pensaky(ペンサキイ)システムは主に電子カルテの入力アシスタントとして開発しました。X 社眼科部門システムとの併用に 1 年間以上の使用実績があります。本システムにより定型文の入力がペンタブレット入力でスムーズにできるようになりました。ただし、「コピー」、「カット」、「ペースト」だけはペンの後ろでマウスジェスチャー入力を利用しています。ジェスチャー入力は「StrokeIt」との相性が良いようです。

iPad,Windows8 など手指によるタブレット入力システムが注目されていますが、定型文入力にはペンタブレット入力が早いと思います。また文章の追加修正をしたり、簡易スケッチを同時に入力する必要のある電子カルテでは指先分解能の問題があります。

最後に電子カルテと本システムを併用する場合は必ず電子カルテディストリビューターの許可を得てください。電子カルテメーカー各社様からの本システムとの併用依頼等に関しましては、電子メール(tan_s9@mbr.nifty.com)にてご連絡ください。本ソフトウェアの基本機能は国際特許出願中(PCT/J P 2 0 1 3 / 0 6 9 0 6 2)です。

ソフトウェア使用許諾契約書

当方はお客様に、ダウンロードその他の手段により提供され、インストールされたソフトウェア（以下、「本ソフトウェア」といいます。）を使用する権利を下記の条件で許諾します。

第1条（著作権） 本ソフトウェアはフリーソフトウェアですが、本ソフトウェアに関する著作権等の知的財産権は、当方に帰属し、本ソフトウェアは、日本およびその他の国の著作権法ならびに関連する条約によって保護されています。また、当方が定めたアップデート、バージョンアップ、サイトライセンス契約によりインストールまたはその利用に対して料金が発生する権利を有しております。

第2条（権利の許諾） お客様は、本契約の条項にしたがって本ソフトウェアを使用する非独占的な権利を本契約に基づき取得します。お客様は、お客様のPCに搭載されたHDDその他の記憶装置に本ソフトウェアをインストールし、使用することができます。お客様は、本ソフトウェアをバックアップまたは保存の目的において複製することができます。

第3条（制限事項） お客様は、いかなる方法によっても、本ソフトウェアの改変、リバースエンジニアリング、逆コンパイルまたは逆アセンブルをすることはできません。お客様には本ソフトウェアを使用許諾する権利はなく、またお客様は本ソフトウェアを第三者に販売、貸与またはリースすることはできません。

第4条（限定保証） 本ソフトウェアは、一切の保証なく、現状で提供されるものであり、当方はその商品性、特定用途への適合性をはじめ、明示的にも黙示的にも本ソフトウェアに関して一切保証しません。本ソフトウェアに関して発生するいかなる問題も、お客様の責任および費用負担により解決されるものとします。

第5条（責任の制限） 当方は、本契約その他いかなる場合においても、結果的、付随的あるいは懲罰的損害について、一切責任を負いません。お客様は、本ソフトウェアの使用に関連して第三者からお客様になされた請求に関連する損害、損失あるいは責任より当方を免責し、保証するものとします。

第6条（契約期間） 本契約は、お客様が本ソフトウェアをダウンロードし、またはお客様のハードウェアにインストールされた日をもって発効し、次によって終了されない限り有効に存続するものとします。お客様が本契約のいずれかの条項に違反したときは、当方は、お客様に対し何らの通知、催告を行うことなく直ちに本契約を終了させることができます。その場合、当方は、お客様の違反によって被った損害をお客様に請求することができます。なお、本契約が終了したときには、お客様は直ちにお客様のハードウェアに保存されている本ソフトウェアを破棄するものとします。

第7条（その他） 本契約は日本国法を準拠法とします。本契約に関連または起因する紛争は、東京簡易裁判所又は東京地方裁判所を第一審の専属的合意管轄裁判所としてこれを解決するものとします。

以上